

参考資料 4

「レクリエーション・コーディネーター」認定方針について

【ディプロマ・ポリシー】

公益財団法人日本レクリエーション協会が認定する「レクリエーション・コーディネーター」は、組織や団体が活性化していくうえで必要な「人材や資源のネットワーク力」、「事業の企画・展開力」、事業を成功に導く「グループリーダー力」など、組織や団体の担い手に必要な能力を兼ね備えた指導者であり、当協会が定める養成カリキュラムを満たした科目の履修者（単位修得）に対して、申請を受け付け、審査を経て資格を授与する。

養成カリキュラムを満たした科目の履修によって、身につけるべき能力等は以下のとおりである。

- ア) 職域や地域の課題やニーズを把握するマーケティング力
- イ) ニーズの高い事業を企画し、継続して展開していく力
- ウ) PDCA サイクルに沿って事業を推進する力
- エ) 事業を成功に導くグループリーダー力
- オ) 人材や団体の協力を結びつけるネットワーキング力
- カ) 事業・人材・資金を獲得するためのプレゼンテーション力
- キ) 安定した組織を築くマネジメント力

【カリキュラム・ポリシー】

上記の能力等を身につけるために、科目 1～科目 5 の 5 区分によって養成カリキュラムを編成する。

以下に、「レクリエーション・コーディネーター」の養成カリキュラムを示す。

科目 1：レクリエーション支援の理念と方法（実学習時間 51 時間以上）

科目名	科目の主なねらい
	参考資料 1_「レクリエーション・インストラクター」認定方針についてのカリキュラムポリシー（理論科目と実技科目）をご参照ください。

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する（複数科目も可）

※主教材として、『楽しさをとおした心の元気づくり～レクリエーション支援の基本の理論と方法～』を推奨。

科目 2：活動領域および支援対象の理解（実学習時間 35 時間以上）

科目名	科目の主なねらい
活動領域の理解	・レクリエーション・コーディネーターとして活動する領域や支援対象者について理解する。
支援対象の理解	・活動領域に所属する支援対象の特徴（身体面の特徴や集団のメカニズム等）について理解する。

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する。

科目 3 : レクリエーション・コーディネート技術 /

科目 4 : レクリエーション・コーディネート演習 (実学習時間 84 時間以上)

科目名	科目の主なねらい
事業でのレクリエーション・インストラクション技術の活用	・レクリエーション・活動を用いた集団形成の基礎的理論と 実践的技術を理解する。
事業やプログラムの意図に応じた レク活動のアレンジ・創作	・多様なレクリエーション活動の特徴と選択の視点を理解する。 ・意図に応じた活動の工夫 (アレンジ) の視点を理解する。
事業の企画と運営	・レクリエーション事業を企画・運営する際の基礎知識を理解する。

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する。

科目 5 : 現場実習 (実学習時間 30 時間以上)

科目名	科目の主なねらい
現場実習	・レクリエーション支援を行う実際の現場における支援対象や環境を理解し、実習担当者の指導・助言のもと、支援プログラムの計画から実施、評価まで一連の流れを経験することで実践力を身につける。

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する。